



日本共産党市会議員 かたやなぎ 進

片柳すすむ 市政報告

発行 日本共産党
川崎市会議員団
川崎区宮本町1番地
第2市庁舎7階
TEL 200-3360
FAX 245-4140
その他の連絡先
TEL 246-6823

代表質問&一般質問

保育料・わくわくプラザ・高齢乗車証から火葬料まで…

市民への大負担増計画ストップを

今月号の内容

- 1面
①市民への負担増計画ストップを
②三の辻歩道上の電柱が移設
③旭町1丁目・道路の補修が実現
- 2面
①市民の声／小児医療費の「一部負担金」やめて
②総務委員会より・マイナンバー
③「憲法論議を」の意見書に反対
④大型開発推進の「本部」づくりはやめるべき
⑤コラム・日進月歩

**新たな市民サービス
切り捨て計画を批判**

4年間の任期の折り返しを迎えた福田市長が発表した「行財政改革に関する計画素案」では、市民サービス切り捨て計画のオンパレードとなっています。

内容を見ると、保育園保育料や「わくわくプラザ」の利用料値上げから火葬場の火葬料まで文字通り「ゆりかごから墓場まで」市民生活の全分野にわたる市民負担増計画となっています（下表参照）。

どの施策も市民の要求運動によって一つ一つ積み重ねてきた市民の暮らしを守る大事な命綱です。

川崎市の財政収支は順調で3年後からは黒字となる見通しです。将来の借金返済のために積み立てている「減債基金」は毎年返済を続けていても現在1800億円、10年後には3000億円（一般会計の約半分）にも積みあがる見通しです。

300億円の羽田連絡道路、5

対象の事業	見直しの内容
小学校全児童対象の「わくわくプラザ事業」	全員から利用料を徴収
保育所 保育料	値上げ
子どもの医療費助成事業	一部負担金を導入
ひとり親家庭の特別乗車証交付事業	見直し
一般ごみの収集	有料化
事業系一般廃棄物処理手数料	値上げ
市民農園	利用者負担の値上げ
高齢者外出支援事業	年齢の引き上げ・料金値上げ
高齢者に対する市単独事業	削減
重度障害者医療費助成事業	負担導入
成人ぜん息患者医療費助成制度	負担導入
テニスコート・野球場など	利用料の値上げ
バラ園	有料化
葬祭場使用料・火葬料	使用料見直し、4月～火葬料値上げ

40億円の臨港道路・東扇島水江町線などの大型開発は見直すなど、川崎市の財政力を市民のくらし充実にこそ活用すべきです。

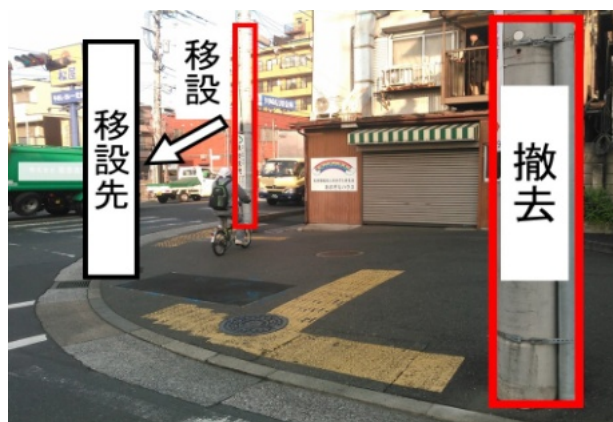
三の辻交差点・歩道上の電柱、3月中の移設決まる

ビデオ店、ファミリーレストランなどもあり人通りの多い「三の辻」交差点。歩道の中央に電柱があるため、歩行者の通れるスペースは1m前後しかなく、「ベビーカーや手押し車で通るのは大変」

「傘をさして歩くとぶつかる」との声が出されており、「実際にケガをした方もいるので、電柱の移動を」と住民のみなさんから要望が寄せられていました。

片柳市議が、6月議会、12月議会で、この問題を質したところ、「電線を地下に埋設することにより、歩行者の通行に影響がないように電柱を2016年3月までに移設する予定です」との回答がありました。また、工事の際の周辺地域や交通安全面の影響について

は「安全対策を講じるよう電柱管理者に指導する」とのことでした。地域のみなさんと力をあわせたことで、電柱移設を実現できました。引き続き地域の要望を実現できるように頑張ってまいります。



三の辻歩道上の電柱の移設が決まりました

市民要望実現 旭町1丁目道路修繕

旭町1丁目「道路舗装のアスファルトが劣化して、つまづいてしまいそうで危ない」との要望が寄せられていました。

「年度内には整備します」との約束どおり、このほど舗装工事が行われました。





櫻町在住 Mさん

小児医療費の「一部負担金」やめて

福田市長は「子どもの医療費は小学6年生までの無料化をすぐに提案します」と公約していましたが、6年生まで助成を拡大する代わりに「1回500円」を自己負担させる提案をしています。子育て中のMさんにお話を伺いました。

1回500円と言っても、積み重なるとけっこう大変なので心配です。実際に息子は3ヶ月のときに尿路感染、1歳のときに気管支炎になり、結局入院したりしました。医療費は無料でも、それ以外にもいろいろお金もかかりました。500円は取りすぎだと思えます。私の家は息子一人なのでまだなんとかなりますが、500円かかるならいつも通っている耳鼻科は考え直そうかなと思ってしまっています。子どもが2人、3人の家庭はもっとキツイと思います。

川崎市では11月から「通知カード」の配布が始まりましたが、12月半ばを過ぎても配達は完了していません。受取人不在のため届かずに役所に送り返された「通知カード」は全国で500万通を超えています。

川崎市では11月から「通知カード」の配布が始まりましたが、12月半ばを過ぎても配達は完了していません。受取人不在のため届かずに役所に送り返された「通知カード」は全国で500万通を超えています。

1月から「個人番号カード」をつくることで「任意」で強制ではない）ますが、主に身分証明程度でしかなく、紛失すると個人情報他人に知られる危険性の高いカードです。

Q、通知カードを受け取っていません。どうすればいいですか？
A、区役所区民課、支所の区民センターにあります。受け取る場合は、電話連絡の上、身分証明ができるものを持参してください。連絡先は左のとおりです。

▽川崎区役所区民課

(TEL2011-3143)

▽大師支所区民センター

(TEL2711-0139)

▽田島支所区民センター

(TEL3221-1970)

川崎市の財政は余力があると聞きました。病院に行く機会が多い乳幼児はもちろん、小学生も、やはり無料にしてほしいと思います。

「憲法論議を」の意見書案に まず立憲主義を守れと反対

12月議会で「国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書」が採択されました。これは、我が国をめぐる諸情勢が大きく変化し、諸課題に的確に対応できるために、国会で活発かつ広範な憲法論議を推進し、国民に丁寧な説明と国民的議論を喚起することを求めたものです。憲法のみならず、法案審議で国民に丁寧な説明することは勿論必要ですが、戦争法案の国会での審議では、8割以上の国民が説明不十分だと感じていたのに政府は強行採決。その後も説明責任を果たしていません。戦争法の強行採決後、安倍首相が憲法「改正」に意欲を燃やしていることから見ても、憲法論議を喚起する先に憲法改定があることは間違いありません。違憲の戦争法を強行採決した政権に対して憲法論議を要求するのは、憲法違反の法に合わせて憲法を変えようとする企てにはかならず、国民に丁寧な説明を求めるといふのなら、まずは戦争法を廃止



し、改めて国民に説明し、国会で徹底的な審議こそ行なうべきだと主張し、共産党は反対しました。

大型開発推進の「戦略本部」づくりにも反対

「総務企画局」「子ども未来局」を設置し、「局」に相当する『臨海部国際戦略本部』を設置することが決まりました。片柳市議は委員会審議の中で、国際戦略特区に関連する土地購入費用だけを見ても、実験動物中央研究所に23億円、国立医薬品食品衛生研究所に31億円、ものづくりナノ医療イノベーションセンターに16億円など、すでに巨額の費用が投入されていることを指摘しました。また、ライフイノベーションの分野は本来、国の責任で研究すべきであり、先端医療の研究開発が成功したとしても医療器具はオーダーメイドのため大量生産にはなじまず地域産業・中小企業に波及しにくいと強調しました。さらに、『戦略本部』は、最低数百億円もの巨額投資が求められる国際戦略拠点づくりを「迅速かつ機動的に取り組む」ためのものだ、と批判し反対の態度を表明しました。



子どもの医療費は「無料」でこそ安心して受診できる

先日、宮原春夫前市議とともに運営している「くらしの相談センター」の「年末パーティー」に家族で参加しました。

当日は4歳の長男・1歳の次男も歌、くじ引きなどを楽しんだのですが、疲れが出たのか2人とも翌日から39℃台の発熱で急きょ病院に駆け込みました。そんなときも医療費が無料なので安心です。



No.7 片柳 すすむ

日進月歩

福田市長は、来年から小学校3年生まで、再来年から6年生まで助成対象を拡充するのと引き換えに、通院1回「上限500円」の一部負担金導入を打ち出しました。子育て世代の貧困が広がる中、「500円は厳しい」と受診をためらうことになりかねません。「安心の医療」こそ広げなければ、と思います。

